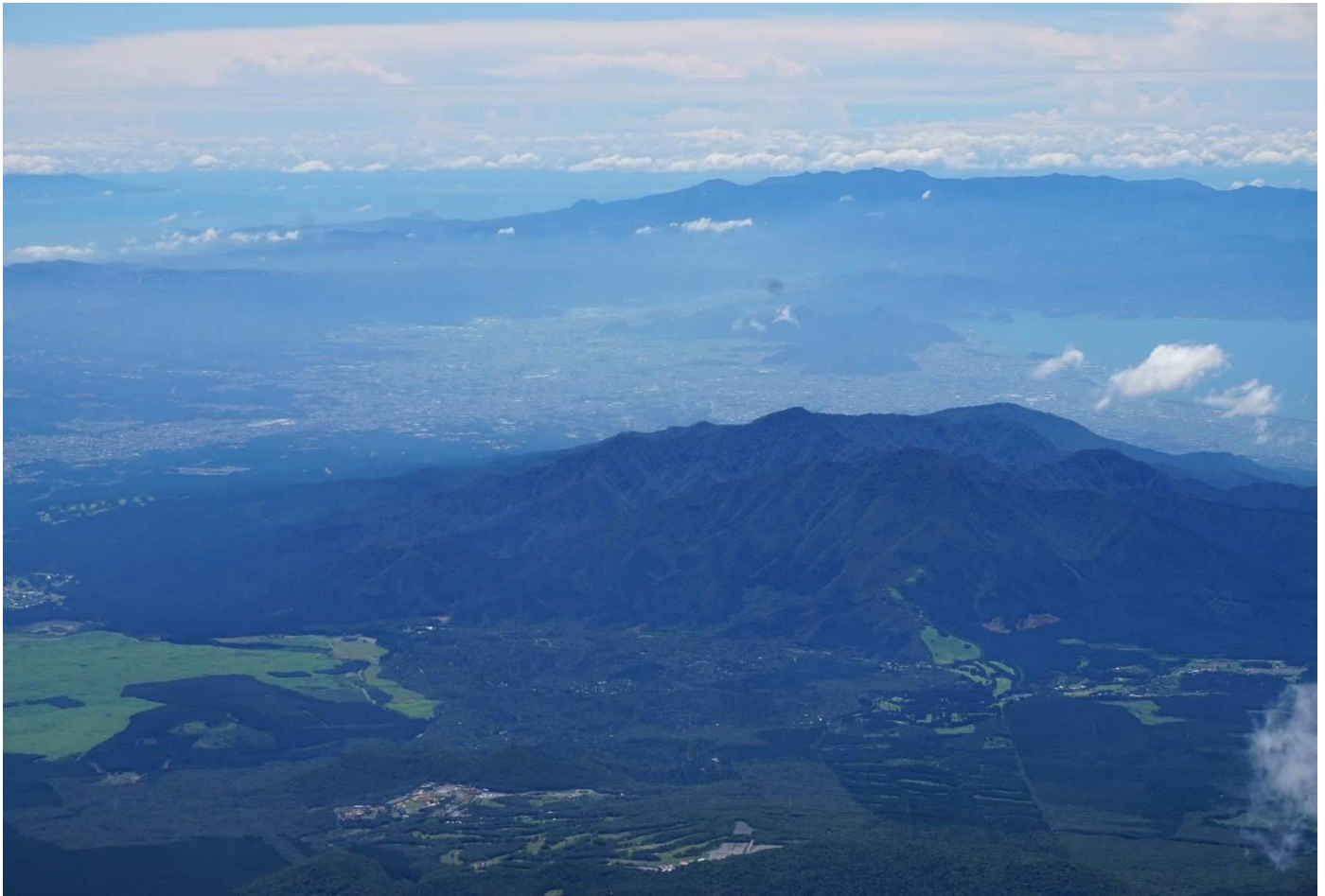


Akatake Times

マスクをしたまま過ごした暑い夏が終わり、一気に冷え込んでまいりました。2021年もあとひと月余りとなりましたが、やり残したことはありませんか？時間はあっという間に過ぎ去るものです。思い残すことの無いように、今年の締めくくりといきましょう！



『富士山からの展望』



8月に富士宮ルートで富士山に登頂しました。
写真は9合目(標高3460m)から駿河湾、伊豆半島方面を撮影したものです。
2年ぶり3回目の富士登山でしたが、過去2回は曇りだったため、富士山からの景色を拝むことができませんでした。
今回は天候に恵まれ、南アルプス、三保松原、駿河湾、愛鷹連山、沼津アルプス、天城山、芦ノ湖、箱根山、相模湾等々を一望でき、最高の富士登山となりました。

撮影日：2021年8月5日 鈴木 政和

◆ 「資本主義の父、渋沢栄一」

2024年、紙幣が20年ぶりに刷新されることになりました。

その1万円札の顔となるのが、今年の大河ドラマ「青天を衝け」の主人公である渋沢栄一氏です。

渋沢栄一とは、どんな偉業を成し得た人物なのか…知っている人は意外に少ないのではないのでしょうか？

日本最初の銀行である第一国立銀行(現みずほ銀行)をはじめ、キリンビール、日本郵船、帝国ホテルなど現代にも繋がる約500の企業の設立に貢献し、「日本資本主義の父」と言われている人物です。

特筆すべきは、その渋沢栄一が、起業家として第一歩を踏み出したのが、この静岡だったのです。

ドラマを見ている方は、ご存じかと思いますが、簡単にご紹介させていただきますので、

歴史が苦手な方も、以下少々お付き合いください。

◆ 「株式会社の祖、商法会所」

江戸幕府が大政奉還で実権を失った時に将軍だった徳川慶喜は、駿府に謹慎という

形をとり、フランスから急遽帰国した渋沢は、慶喜を追って駿府に入りました。

そのころ、明治新政府は、日本全国の統一紙幣を作るため太政官札を作り、

明治維新で財政的にひっ迫している各藩に、石高に応じた貸付を行いました。

これによって各藩の財政を助け、それによる利子で明治政府の殖産産業の資金としたのです。

静岡藩が借りたのは53万両でしたが、資金には限りがあります。

計画なしに使ってしまえば、借金だけが残る事になり、それを危惧した渋沢は

フランスで学んできた合本組織を参考に、旧幕臣と商人たちが力を合わせて

産業を振興し、一つの組織の立ち上げを発案しました。

それまでの身分制では武士と商人は大きく立場が違うので、

当初は立場の違う武士と商人の軋轢がありました。武士には仕事も収入の見込みがないのですから、渋沢に懸けるしかなかったのでしょう。

それが、「静岡商法会所」という組織です。

渋沢の提案は、藩が政府から借りた石高拝借金と、商人や豪農などが出資したお金を資本金とします。

これは、茶・米などを生産するために必要なものを買うための資金として貸し付けたり、製品を買い取るためにも充てます。

出資希望者は誰でも参加でき、出資金額も問わないというのが画期的な方法だったようです。

そして商法会所に利益ができれば、出資金額に応じて分配金が出されます。

もうおわかりですね！ 商法会所とは、まさに現代の株式会社にあたります。

その後、茶産業などの手腕が大隈重信に認められ、当時の大蔵省に仕えることになり静岡を去ります。

静岡での生活は、およそ1年弱だったようですが、150年前の幕末から明治初期にかけて、最後の将軍慶喜

と昭和まで活躍した渋沢のこの2人が、静岡のこの地に立ち、同じ空を見、風を感じ生活しながら、

激動の時代を駆け抜けていったことを想像するだけでわくわくします。

◆ 「働き盛り・・・」

また渋沢は、生涯91年の間に「商売には信用が第一」という信念をもとに、多くの格言を残してくれています。

- ・目的には理想が伴わねばならない。その理想を実現するのが人の務めである。
- ・商売をする上で重要なのは、競争をしながらでも道徳を守ることだ。
- ・信用はそれが大きければ大きいほど、大いなる資本を活用することができる。
- ・世に立ち大いに活動せんとする人は、資本を造るよりもまず信用の厚い人たるべく心掛けなくてはならない。

今、100年企業に向けてスタートした私達にも響くメッセージだと思い、紹介させていただきました。

我が社も、渋沢氏の思想には及ばないまでも、常に理想をもって、目的を見失うことなく、信用を得られるように道徳心を忘れず、100年、150年と歴史に残るよう、息長く存続できることを願ってやみません。

また、91歳という長寿の渋沢氏は、

「40, 50ははなたれ小僧、60, 70は働き盛り、90になって迎えが来たら、100まで待てと追い返せ」

とも言っています。

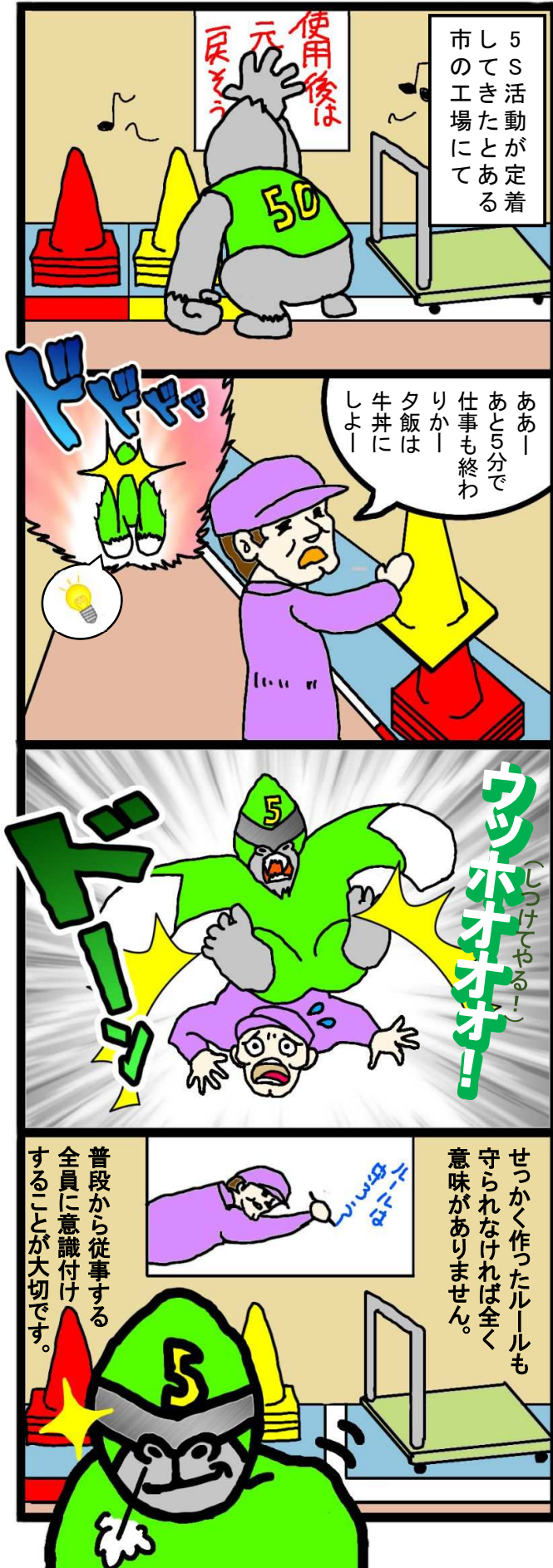
渋沢氏のように90歳まで長生きできるとは思えませんが、やっと今年“はなたれ小僧”を卒業した私は、これから働き盛りということなので、まだまだ頑張らないといけませんね。

ちなみに、この「静岡商法会所」が設立された場所というのが、慶喜が晩年を過ごした現在も残る「浮月楼」だそうです。(息子の結婚式の時に、しっかり見ておけばよかったと後悔です・・・)

Enjoy 5S★レコシヤ

～Story6

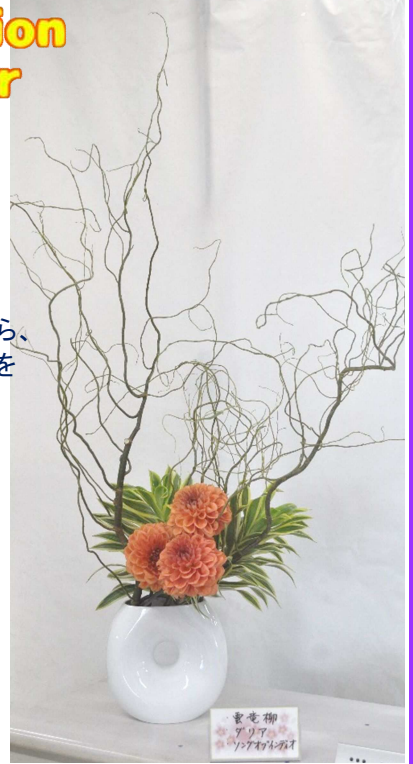
ウホウホウホホ、ウホッウホ～
(ルール違反を見るのは、もうこりこりら～)～



Reception Flower

受付に華やかさを添える生け花。

今回は、2021年8月～9月に生けた花の中から、選りすぐりの1点を選んでいただきました。



- ✿ 雲竜柳
- ✿ ダリア
- ✿ ソングオブインディオ

いほさら聞けない... ビジネス用語

『 Must 』

マスト

マストは、「～しなければならない」という意味の英語からきた用語で、仕事上では「絶対に必要なこと」、「外せない要件」などの意味で使用されます。

例えば、ビジネスマンのあなたが、上司に『これだけはマストです』と言われたならば、その『これ』だけはやり遂げる必要があるということになります。

かといって、どだい無理なことを『マスト』と言って押し付け片づけようとするのは良くありません。

内容、スケジュール、力量... 諸々を考慮し適切なマストの使い方をマスターしてこそ、真のビジネスマンに近づけるのではないのでしょうか。